

佐野市景況レポート

令和4年7～9月期



佐野商工会議所
〒327-0027 佐野市大和町 2687-1
TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517
HP <https://www.sanocci.or.jp>
E-mail s-cci@sanocci.or.jp
調査協力：佐野市あそ商工会

《 概 況 》

『コロナの次は円安』、原材料・仕入価格の高騰続く

【 令和4年7～9月期 実績 】

全業種業況 DI 指数は▲33.9、前期（6月期）比▲3.2ポイントと、市内事業所の景況感は悪化しました。

利益 DI 指数▲38.7（前期比+3.0）、売上高 DI 指数▲28.2（前期比+0.3）と売上高指数は前期並みでしたが利益指数は若干改善しました。原材料・仕入価格 DI 指数は 76.5（前期比 +4.5）、販売価格 DI 指数は 21.2（前期比 +3.3）と原材料・仕入価格の異常な高騰は続いており、販売価格への転嫁が遅れているようです。

【 令和4年10～12月期 見通し 】

全業種業況 DI 指数は▲29.9（前期比▲2.5）と、景況感の悪化を予想しています。売上高 DI 指数▲23.4（前期比▲1.3）、原材料・仕入価格指数 68.6（前期比+1.4）、販売価格指数 18.5（前期比▲2.5）と、売上高 DI 指数と販売価格指数は低下し、原材料・仕入価格 DI 指数は上昇を予想しており、3か月後の景況感は悪化する見通しです。

【 事業所等の景況コメント他 】

今回の景況に関する特徴あるコメントは、『コロナより円安が大変』です。前期のコメントと同様に原材料・仕入価格の高騰が多く記載されていました。詳細をみると、円安による輸入品上昇等の影響が前回より多く挙げられました。また、「仕入価格の上昇を販売価格に転嫁しきれない」、「コロナ欠員・人不足」などのコメントが寄せられました。

原材料・仕入価格の異常な高騰が続き、販売価格への転嫁難、消費者の買い控えによる売上減少など、原材料・仕入価格高騰による二次的マイナス影響が大きくなったようです。

〔佐野市内における業況天気図〕

	実 績（令和4年7～9月期）		見通し（令和4年10～12月期）	
業 況	▲33.9		▲29.9	
売 上 高	▲28.2		▲23.4	
販 売 価 格	21.2		18.5	
仕 入 価 格	76.5		68.6	
労 働 力	▲24.6		—	—

* 天気図の説明
（数字は DI 値）
・ 仕入価格、販売経費、在庫は DI 値をマイナス評価

晴れ	薄日	曇り	小雨	雨
26 以上	11～25	10～▲10	▲11～▲25	▲26 以下

調査協力：OKコンサルティング 代表 岡野 清（中小企業診断士）

☆ 業況について（令和4年7～9月期実績）

天気図



全業種 DI 指数▲33.9、前期比▲3.2 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位5業種）

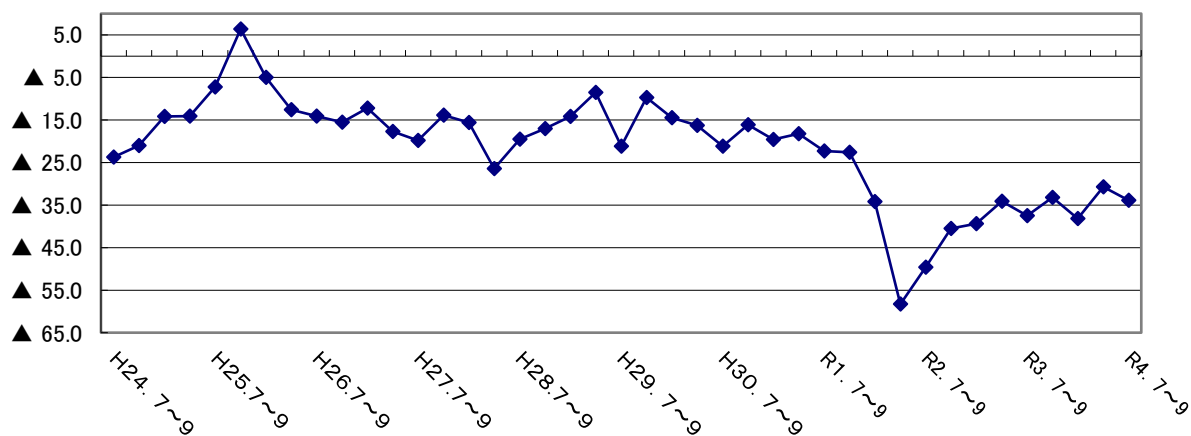
①建設業▲9.5 ポイント、②卸売業▲13.0 ポイント、③機械・金属製造業▲20.0 ポイント、④その他の製造業▲22.0 ポイント、⑤サービス業▲23.1 ポイント

良い



悪い

業況(全体)



☆ 原材料仕入価格・仕入価格について（令和4年7～9月期実績）

天気図



全業種 DI 指数 76.5、前期比 4.5 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位5業種）

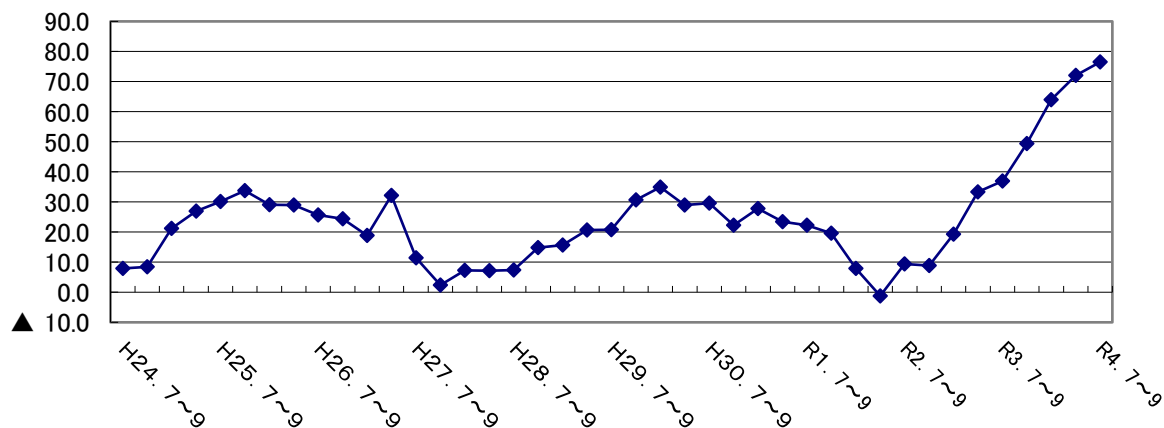
①飲食店 100.0 ポイント、②小売業(飲・食料品)89.2 ポイント、③食品製造業 81.8 ポイント、④卸売業 80.5 ポイント、⑤化学・プラスチック製造業 80.0 ポイント

上昇



下落

原材料仕入価格・仕入価格(全体)



☆ 売上高について（令和4年7～9月期実績）

天気図



全業種 DI 指数▲28.2、前期比 0.3 ポイント上昇

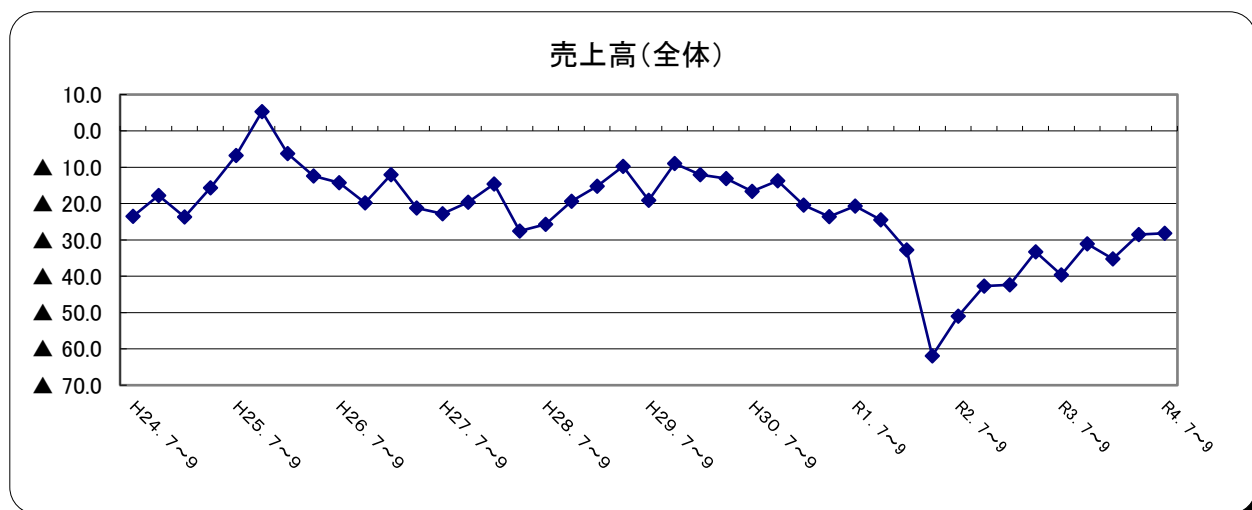
業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①機械・金属製造業 0.0 ポイント、②サービス業▲7.9 ポイント、③繊維品製造業▲8.6 ポイント、④卸売業▲20.0 ポイント、⑤その他の製造業▲22.0 ポイント

増加



減少



☆ 受注販売価格・商品販売価格について（令和4年7～9月期実績）

天気図



全業種 DI 指数 21.2、前期比 3.3 ポイント上昇

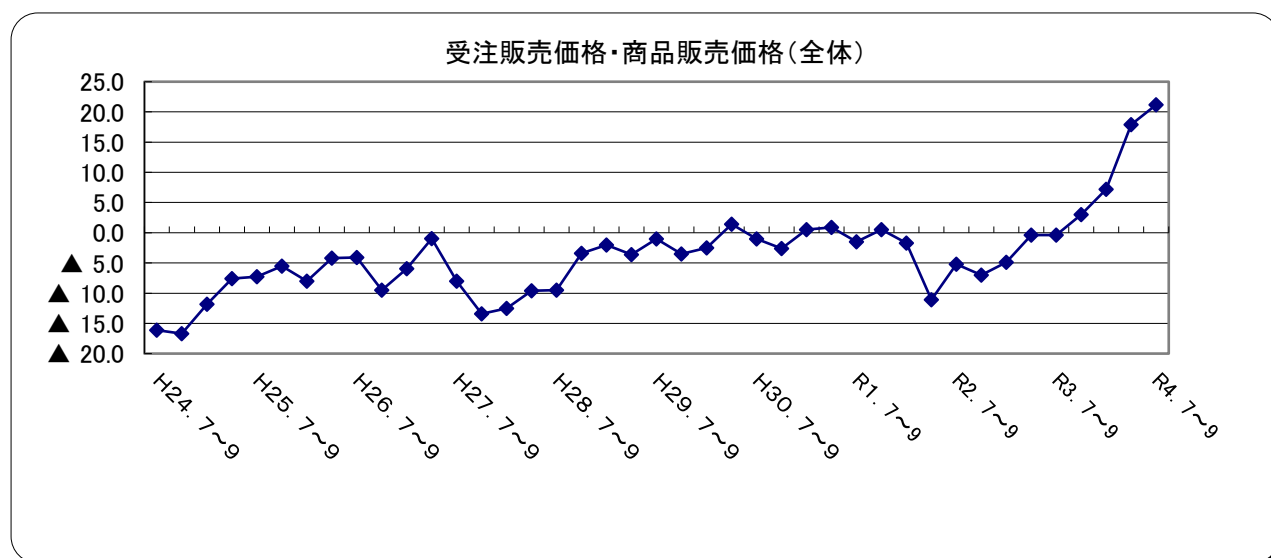
業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①卸売業 54.5 ポイント、②その他の製造業 38.5 ポイント、③その他の小売業(大型店含む) 29.4 ポイント、④飲食店 27.3 ポイント、⑤化学・プラスチック製造業 26.5 ポイント

上昇



下落



☆ 製品（材料）在庫・商品在庫について（令和4年7～9月期実績）

天気図



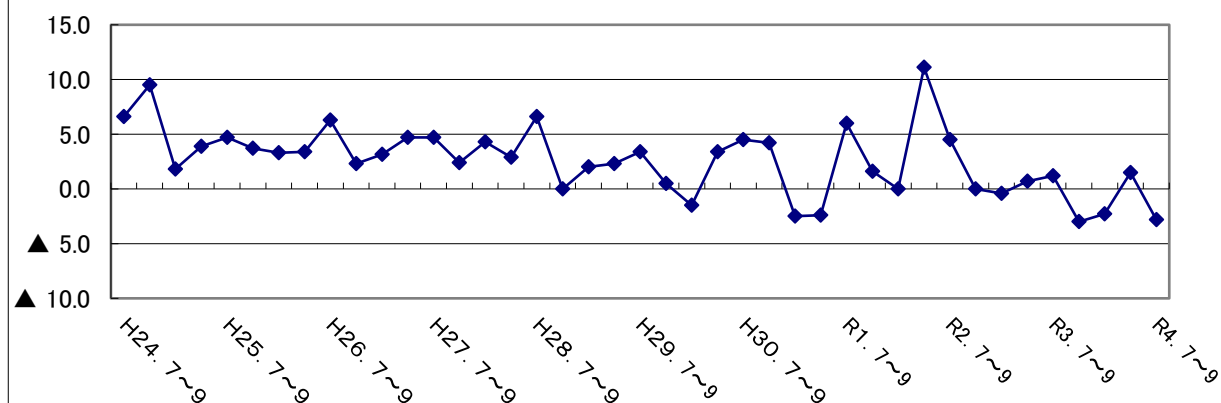
全業種 DI 指数▲2.8、前期比▲4.3 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位5業種）

①化学・プラスチック製造業 13.0 ポイント、②その他の小売業(大型店含む) 10.7 ポイント、③飲食店 4.2 ポイント、④食品製造業 0.0 ポイント、⑤建設業 0.0 ポイント

過大
↑
↓
不足

製品（材料）・商品在庫(全体)



☆ 利益状況について（令和4年7～9月期実績）

天気図



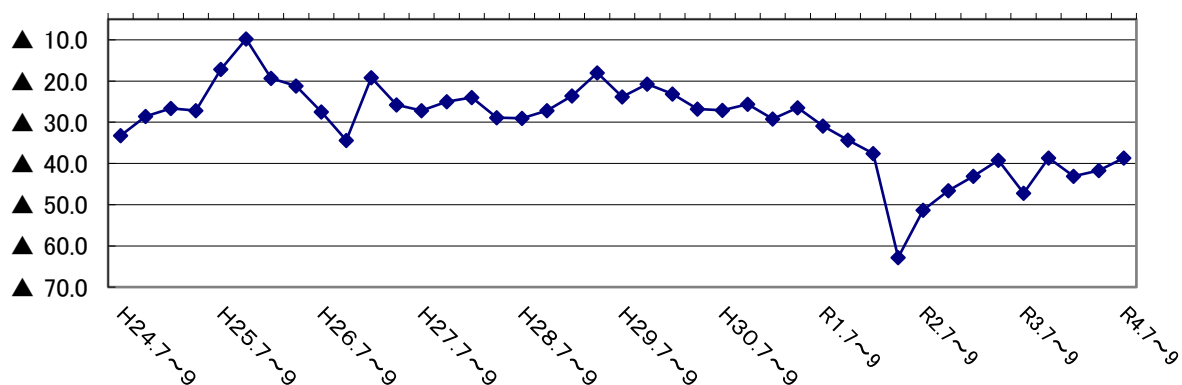
全業種 DI 指数▲38.7、前年比 3.0 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位5業種）

①機械・金属製造業▲15.0 ポイント、②卸売業▲20.0 ポイント、③サービス業▲23.1 ポイント、④建設業▲23.6 ポイント、⑤設備業▲30.6 ポイント

増加
↑
↓
減少

利益状況(全体)



☆ 資金繰りについて（令和4年7～9月期実績）

天気図



全業種 DI 指数▲19.5、前年比 0.7 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

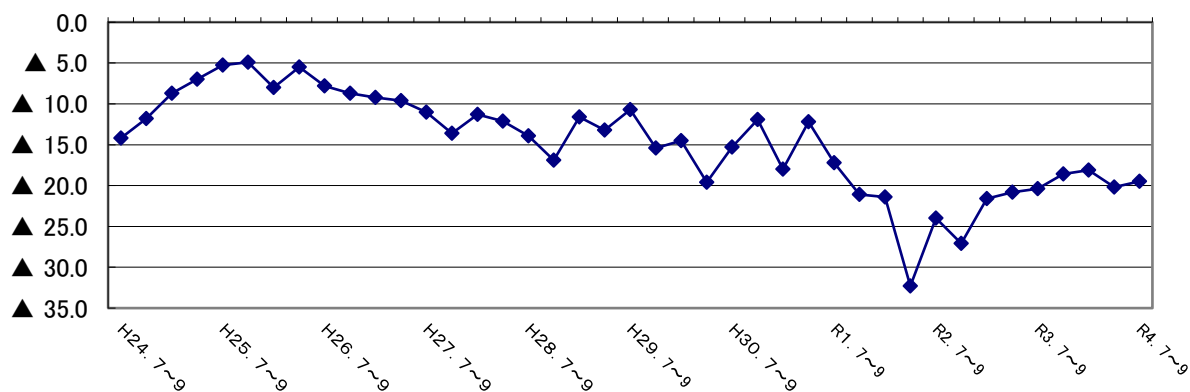
①その他の小売業(大型店含む)▲5.3 ポイント、②設備業▲5.5 ポイント、③卸売業▲6.1 ポイント、④その他の製造業▲7.0 ポイント、⑤機械・金属製造業▲7.1 ポイント

楽



苦しい

資金繰り(全体)



☆ 労働力について（令和4年7～9月期実績）

天気図



全業種 DI 指数▲24.6、前年比▲6.3 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

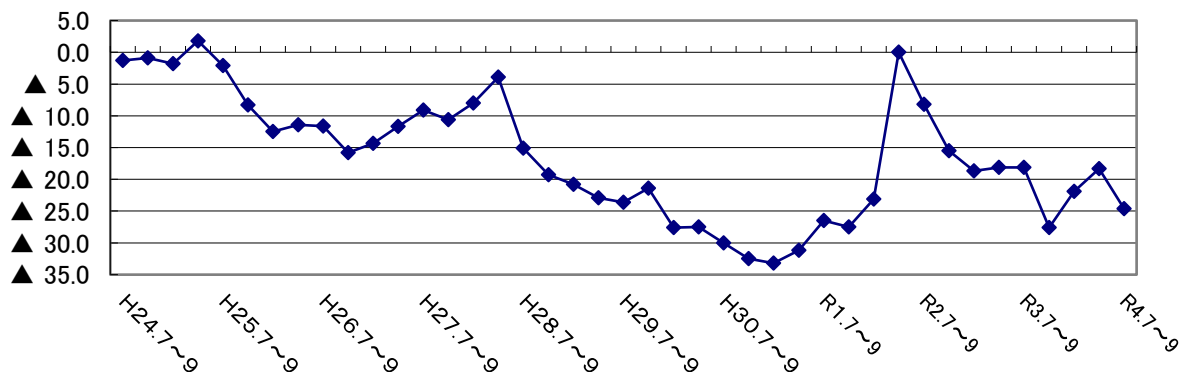
①卸売業、小売業(飲・食料品)▲6.4 ポイント、②その他の製造業 14.3 ポイント、③繊維品製造業▲15.8 ポイント、④設備業▲23.1 ポイント、⑤機械・金属製造業▲23.7 ポイント

過剰



不足

労働力(全体)



☆ 設備稼働率について（令和4年7～9月期実績） （建設・設備・製造業関係）

天気図



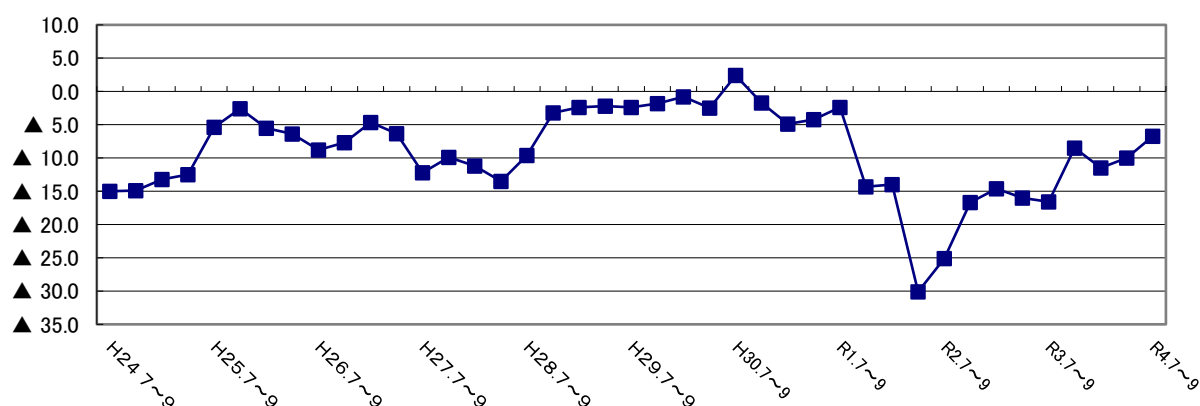
全業種 DI 指数▲6.7、前年比 3.3 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①設備業、その他の製造業 0.0 ポイント、②建設業▲3.1 ポイント、③繊維品製造業▲8.1 ポイント、④機械・金属製造業▲11.1 ポイント、⑤食品製造業▲24.0 ポイント

高い
↑
低い

設備稼働率（建設・設備・製造業）



☆ 販売経費について（令和4年7～9月期実績） （商業・サービス業関係）

天気図



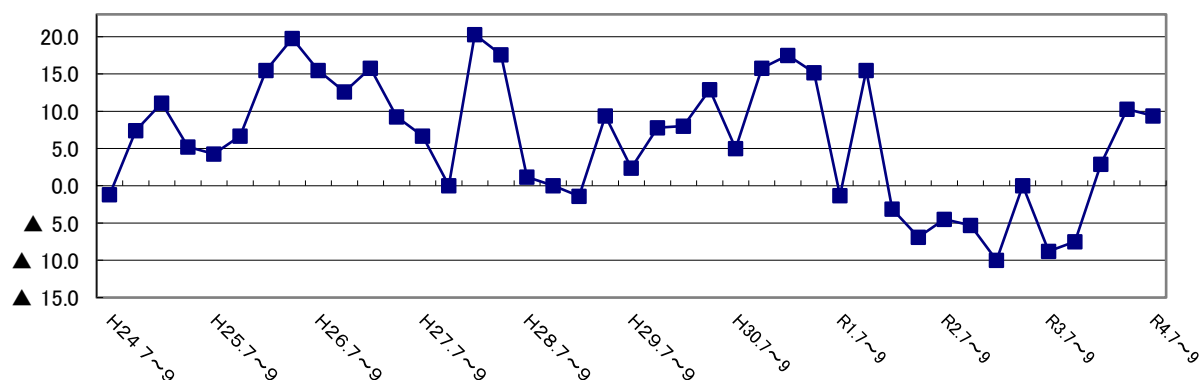
全業種 DI 指数 9.4、前年比▲0.9 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①卸売業 20.0 ポイント、②サービス業 18.1 ポイント、③飲食店 9.4 ポイント、④小売業（飲・食料品）0.0 ポイント、⑤その他の小売業（大型店含む）▲5.7 ポイント

増加
↑
減少

販売経費（商業・サービス業）



☆ 今後3ヶ月先（令和4年10～12月期の見通し）の業況について

天気図



全業種DI指数▲29.9、前年比▲2.5ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

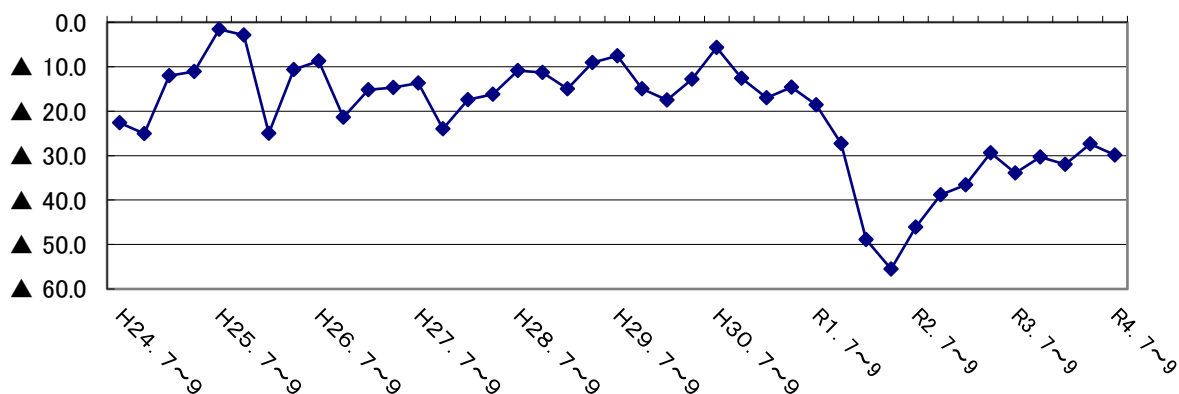
- ①食品製造業▲11.1ポイント、②建設業▲12.8ポイント、③卸売業▲13.0ポイント、
④設備業▲23.1ポイント、⑤機械・金属製造業▲23.7ポイント

良い



悪い

業況予想(全体)



☆ 今後3ヶ月先（令和4年10～12月期の見通し）の売上高について

天気図



全業種DI指数▲23.4、前年比▲1.3ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

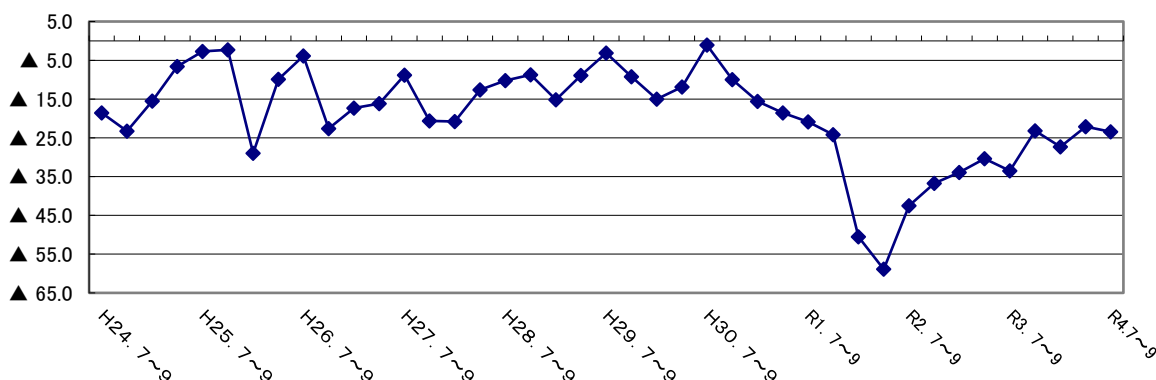
- ①食品製造業▲5.9ポイント、②機械・金属製造業▲7.5ポイント、③繊維品製造業▲
8.1ポイント、④建設業▲13.0ポイント、⑤その他の製造業▲15.0ポイント

良い



悪い

売上高予想(全体)



☆ 今後3ヶ月先（令和4年10～12月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について

天気図



全業種 DI 指数 68.6、前年比 1.4 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位5業種）

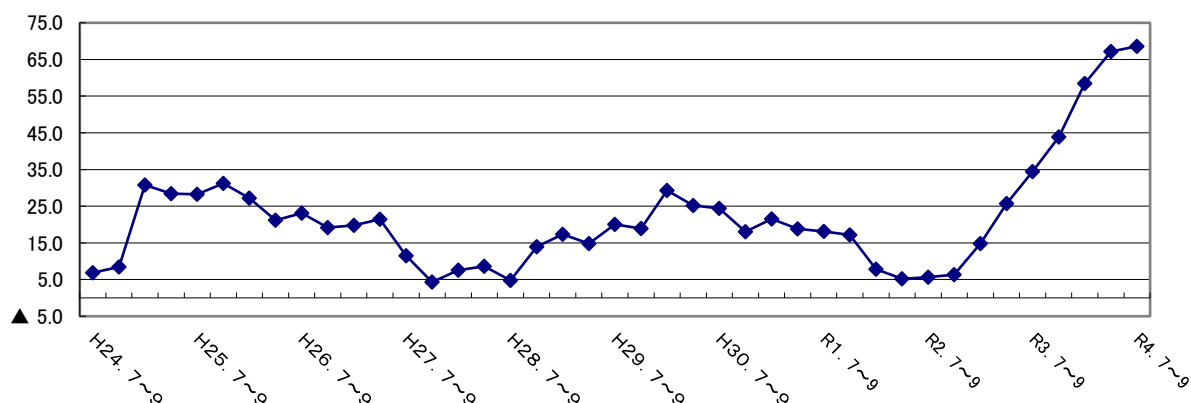
- ①飲食店 100.0 ポイント、②繊維品製造業 87.1 ポイント、③設備業 81.8 ポイント、④小売業（飲・食料品）78.9 ポイント、⑤サービス業 77.1 ポイント

上昇



下落

原材料仕入価格・仕入価格予想(全体)



☆ 今後3ヶ月先（令和4年10～12月期の見通し）の受注販売価格・商品販売価格について

天気図



全業種 DI 指数 18.5、前年比▲2.5 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位5業種）

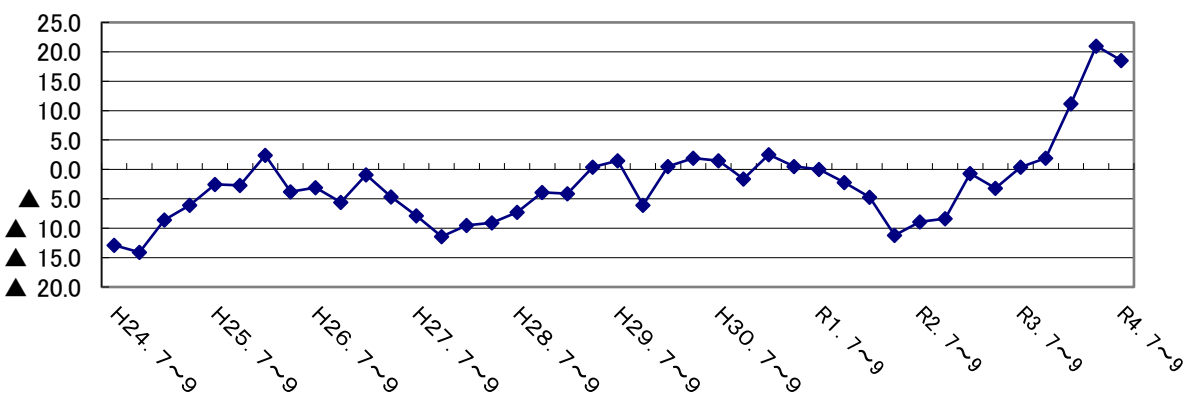
- ①小売業（飲・食料品）45.0 ポイント、②その他の小売業（大型店含む）39.6 ポイント、③その他の製造業 30.0 ポイント、④食品製造業 29.4 ポイント、⑤卸売業 27.3 ポイント

上昇

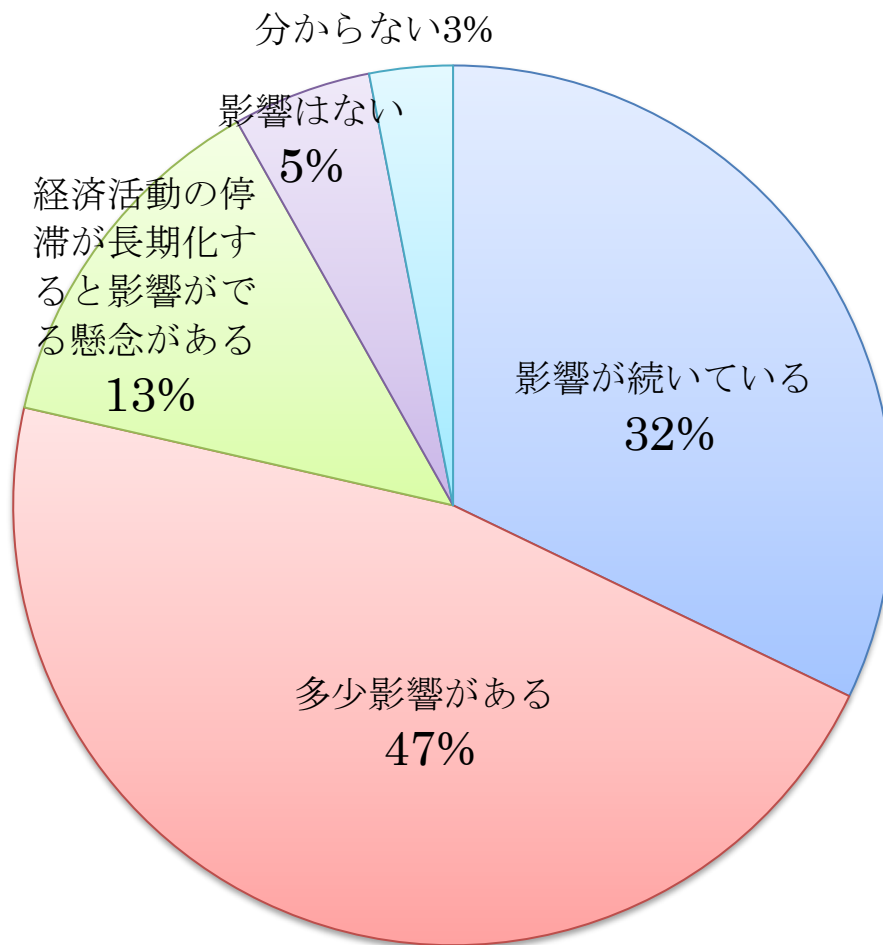


下落

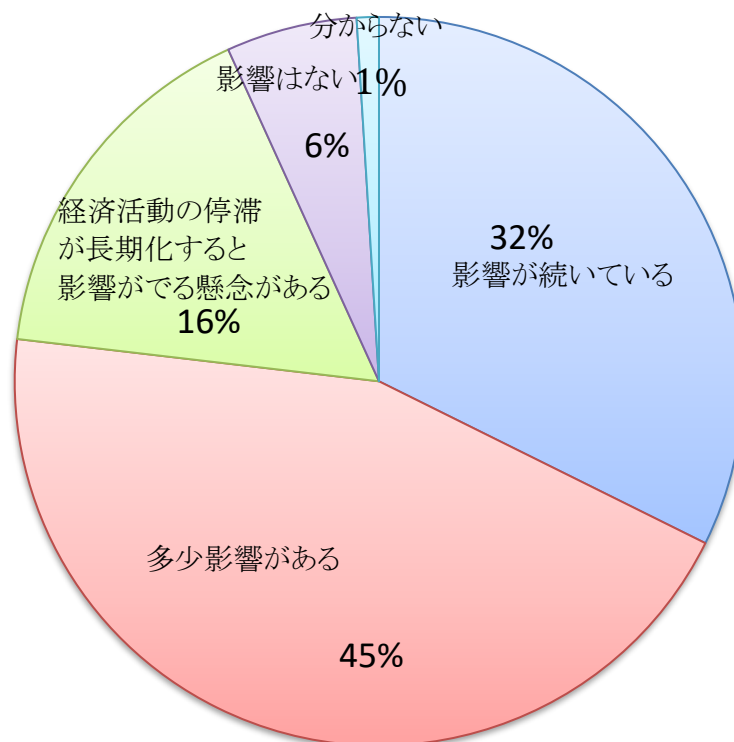
受注販売価格・商品販売価格予想(全体)



新型コロナウイルスの影響について



令和4年4月～6月期(参考)



☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景気に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

建設業

- ・インフレで仕入価格上昇がやはりきびしいです。
- ・すべての資材価格が上昇しています。
- ・新商品用の型枠が出来たので購入しましたが、新商品を導入したことが業者に知れ渡らない為、未だ売上になりません。「ものづくり助成」というものがあつた様で、利用すれば良かったなと思いました。当社のホームページ作りに助成が利用出来るか聞いてみたいと思います。
- ・住宅新築者が減少していることから材木の流れが悪くなっていると共に丸太価額も下がり続けているので、来年度あたりに不安がある。
- ・全体に物件数が少なくなっている様に感じます。良い状況になってもらいたいです。
- ・物価が高騰していても価格(賃金当)値上げする事が難しいので、結果的に実質利益が減り苦しい経営となってしまう。
- ・少しずつ受注が増えてきている気がする。

設備工事業

- ・ウォシュレット、給湯器、エコキュート、電気温水器等の入荷が不透明で現状入荷待ちが続いている。10月からの商品の値上げも控えている。売上げに影響がある(大)。
- ・新しい事業もスタートしますがどんな状況下でも効率良く動き、売上げ数値も、人財のモチベーションも高めていきたいです。
- ・原油価格の高騰により材料・部材の値上げが続いている。どこまで高騰し、続くか先行き不透明である。

繊維品製造業

- ・為替相場について顧客の理解を得られず困っています。
- ・為替の影響で仕入価格が高騰するので、早く落ち着いてほしい。
- ・円安の影響により資材関係の値上げが止まりません。
- ・弊社輸入商品の為円安による影響でコストが増加しており、これ以上販売価格に転嫁できず厳しいです。

食品製造業

- ・円安で大変になっています。
- ・原材料・その他の仕入値の上昇ばかりで、いいニュースはありません。先が見えず不安な日々となりそうです。
- ・コロナよりウクライナです。原料や資材の価格の高騰が問題です。
- ・仕入価格の高騰が利益を圧迫しています。販売価格の改定を行い改善していきたいと思っています。
- ・アイテム毎の増減はあるが、市場全体の需要と供給のバランスは落ち着いてきた。ただ、水道光熱費・原資材の高騰により経費増、利益圧迫が続く苦しい状況である。補助金など現金が増えても出るのが多くては困るので、行政には支出をおさえる減税などを検討してほしいのが本音である。
- ・エネルギー(電力・ガス)、輸送、海外からの輸入原料(スパイスなど)のコストがアップしており、業績への影響が大きい。契約社員の採用難により、人員体制も厳しい状況です。
- ・物価高対策として消費税減税すべきだと思う。岸田総理は減税する気ないようなので、お願いして下さい。グレートリセットについての勉強会を開催して下さい。

機械・金属製品製造業

- ・徐々にインフレが進み、物の価格が適正に調整される事が社会経済の正常な成長の為

に必要な事と思います。しかし過度のインフレはバランスを崩してしまいます。さらなる円安を懸念します。

- ・原材料・副資材・燃料費が更に高騰。販売価格に転嫁出来ていない。収益を圧迫。通信費・福利厚生費も値上がりで苦しい。
- ・電気、ガス等の価格上昇による収益減少。
- ・ロシア・ウクライナ間の戦争問題等により海外からの輸入材料の高騰により、仕入材料価格が月を追って値上がり傾向にあり、直ぐに売価に反影出来ず利益の確保が厳しい！
- ・宜しく願います。
- ・ステンレス製品、鉄製品の価格上昇が続いている。原材料が高いので製品も価格を変えなければならない中で、売上も減少気味である。景気低迷から早く抜け出せると良いと思います。
- ・一部の材料の仕入が滞り出荷が出来ない状況が続いております。
- ・バイク不足。新車が入らない。部品の価格上昇と納期が遅れる。
- ・コロナウイルスによる営業活動も緩和されたが売上につながっていない。台風により離れてしまった客先の売上がもどっていない。

化学・プラスチック製品製造業

- ・原材料の上昇は2～3ヶ月に1回有る感じです。例えば銅板、半導体関係など多くあります。
- ・年末に向けてコロナによる入荷遅れ分、入金はずれ発生、先の受注は見積増加しているが決定に遅れ発生しています。
- ・ストレッチ関係の包装材加工の会社ですが、景気悪いです。(注文がこない)
- ・原材料の高騰が続いており、収益に影響している。
- ・電気代・ガス代その他。どうなるのでしょうか？
- ・化粧品のためマスク使用だと？
- ・仕入価格上昇にて10月から販売価格を見直しされ緩和されると思います。電気料金・人件費など上昇傾向の為心配ではある。
- ・車関係は部品不足及び日野のトラック関係の問題で減産状況。

その他製造業

- ・とにかく何でも値上げで仕入れが厳しい。販売価格に転嫁しきれない部分は自分で手間をかけるしかないで、これ以上値上げが続くようだとどうしようもなくなる。
- ・全体的には不況感がある。仕入価格が上昇している。売上価格は後手を踏む。客先の抵抗もあり、なかなか値上げ出来ない。今年末頃には多少注文は増えそうだ。

卸売業

- ・電気代・燃料代の高騰により大幅なコストアップとなっている。今後のさらなるコストアップに対する対策が急務。
- ・コロナで休みが多い。人員不足です。注文に対して出荷が間に合わない。
- ・仕入商品が値上げラッシュになっている。特に輸入品は全般です！
- ・コロナより円安が大変。
- ・円安で仕入価格は急上昇している。
- ・一人、個人でやっていた人がポツポツ仕事をやめていく！
- ・仕入れ、販売価格の上昇に伴い少しでも安い通販へお客様移動。
- ・ガソリン代や仕入価格が上がり、今月は円安。輸出入に影響する為利益が心配になる。先行きが不安。

小売業（飲・食料品）

- ・色々変動がありますね！
- ・7月8月とオリジナルで製造してくれという依頼を多くいただきました。このまま当方の認知度が増々上がっていくことを期待しております。

- ・原材料費、包装資材などほぼ全てのものが上がっている中、光熱費も天井が見えない。先行きが見えない状況である。
- ・お得意さんにコロナが流行しています。マスクは常にしているのですが、恐いです。
- ・佐野市のコロナ人数が減少していないのでまだまだ影響はあります。

その他の小売業（大型店含む）

- ・医療関係業種は景気に対する影響は少ない様ですが、コロナ感染拡大による患者受信の縮小懸念が心配です。
- ・このまま景気回復せず、終わりそうです。
- ・人通りがない。
- ・人流は増加していますが、コロナ前の状況までは届いていない。生活様式の変化に合えば数値は伸びるが合わないと感じる状況。商品の値上げ傾向は続いており更に厳しさを増している。
- ・人員不足・コロナ欠員等の人的要因大きい。仕入値上昇、かなり厳しい。
- ・物価が来年の春頃まで上昇すると思うので売上げは買い控えが少し出て来る。来年の春過ぎに売れ残りの処分が出て来るのではないのでしょうか。
- ・今年になってから値上げが続き2割アップになり商売がしにくい。
- ・コロナの精で来店客少ない。マスクが外せないが続き、美容品にお金をかけていない。

飲食店

- ・夜に、外出しない生活習慣が定着してしまったのか
- ・来店頻度及び来店来数とも大幅に減少している。
- ・特に夜が悪いように感じます。
- ・仕入価格の上昇にメニューの改定が間にあいません。
- ・台風19号、そして新型コロナ、物価高騰・・・毎年目まぐるしく、さまざまな影響が事業者に対し押し寄せて来ます。
- ・コロナの影響（大）です。
- ・コロナ・戦争・そして円安、きびしい状況が続いています。人手不足もきびしいです。
- ・仕入価格の上昇につき、販売価格の見直しを検討中。
- ・コロナ対策で入場制限しているので売上げは減少しているが、TAKEOUT、弁当等は伸びている。
- ・メディア等では人の動きがあると言われていますが、人の動きはさっぱりです。街の中は動いているのでしょうか。
- ・仕入価格の上昇と光熱費の上昇に歯止めなし、先行き不透明。
- ・夜の営業は、まったくと言ってよいくらい客入りしない。この先不安ですね。
- ・全ての仕入価格、経費の上昇が続いており販売価格の値上げと消費者心理の悪化で原価率を維持するも客数減となっています。
- ・with コロナによってお客様のニーズも変わって来ました。その中で選んで頂ける店をこれからも目指します。これからもお力をかけて下さい。よろしくお願い致します。
- ・10月頃から徐々にお客様の来店を期待して当店で出来る事で頑張っています。
- ・来年の1月には新店オープン予定です。何かアドバイスがあれば引き続き宜しくお願いします。
- ・当店に限ってみれば、コロナの影響は続いているようです。この夏の客足はかなり落ち込み、打開策を思案しています。
- ・コロナが増えると売上も下がる為、なかなか安定しない。
- ・10月以降のコロナの減少と景気の回復に期待しています。
- ・依然としてコロナの影響は続いている。
- ・どこの会社もコロナで飲食店の出入りは自粛要請が出ているためお客さんが来ない。

サービス業

- ・いつもありがとうございます。
- ・自動車新車の納期がかかりすぎているのが要因で、様々な不都合が増えてきている。（中古車の高騰など）

- ・ウエディング業界という特性もあり、人数減による売上減がある。今後はそれがトレンドになりそうなので、ビジネスモデルから考え直す必要があると考えます。
- ・コロナなんかに負けたくない！！
- ・コスト上昇による混乱はつづいており、仕事がやりにくい。金額が定まりにくいことから、注文住宅をさける傾向にあり今の状況が長期化するとこの業界はかなりの打撃になると思われる。
- ・助成金の継続を望みます。
- ・仕入に関してほぼ値上がりしている。価格を変更しないとならないと考えている。
- ・8月が最も苦しかった。
- ・花火大会やお祭りなどの中止による影響で売上予算が10%ほど減少しました。昨年までは春から中止の予定で予算を組んでいましたが、今年の直前での中止はより痛手となりました。

佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 令和4年7月～9月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施し、196社（回答率67.5%）から回答がありましたものを取りまとめたものです。

(1) 建設業

① 建設業	25社
② 設備工事業	21社

(2) 製造業

① 繊維品製造業	22社
② 食品製造業	18社
③ 機械・金属製品製造業	40社
④ 化学・プラスチック製品製造業	36社
⑤ その他の製造業	22社

(3) 商業・サービス業

① 卸売業	15社
② 小売業（飲・食料品）	23社
③ その他の小売業（大型店含む）	27社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

3 分析方法[景況動向指数（D I）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

D I 方式は、
$$\frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100$$
により算出

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合先 佐野商工会議所経営支援課 TEL（代表）0283-22-5511



佐野商工会議所